

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

# OTみえ

No.138

2023.2

## NEWS

第21回東海北陸作業療法学会開催を振り返って



# contents

## 【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

---

## 【巻頭言】

第21回東海北陸作業療法学会を振り返って・アンケート結果  
第21回東海北陸作業療法学会 実行委員長 佐藤明俊

---

## 【知人 de リンク】

医療法人紀南会 熊野病院 金野あやね  
医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 伊藤奈々子

---

## 【施設紹介】

社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院 葛西菜々子

---

## 【新企画 エキスパートに聞いてみよう!】

鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科 専門作業療法士(摂食嚥下) 青木佑介

---

## 【イベント・研修会情報】

第17回みえ福祉用具アイデアコンクール 2022 一般社団法人三重県作業療法士会 副会長 佐藤明俊

---

## 【各部局、委員会、ブロックの活動報告】

学術部より

身体障害班

精神障害班

地域リハビリテーション部より

地域リハビリテーション部

認知症とともに班

組織部より

運転と作業療法委員会より

選挙管理委員会より

中勢ブロックより

---

## 【事務局より】

令和5年度定時社員総会のお知らせ

## 【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

## 【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

---

## 【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19 tel.0596-65-6039

[https://www.nihonmokki.jp/puzzle\\_rental/](https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/)

株式会社システムネットワーク ヘルスケア事業部 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F tel.06-6364-0529

<http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中センイ株式会社 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村 207 tel.0595-63-7851

<http://www.tanakaseni.co.jp>

---

## 【編集後記】

表紙写真：いなべ市 藤原岳と三岐鉄道

三重県作業療法士会会員数 679名 施設会員 627名 自宅会員 42名 賛助会員 3社

## 第21回東海北陸作業療法学会を振り返って

# Topics

第21回東海北陸作業療法学会  
実行委員長 佐藤明俊



第21回東海北陸作業療法学会（第33回三重県作業療法学会併催）が令和4年11月12日（土）から12月11日（日）までの期間、「伝えよう！作業療法の魅力」—健康を支える作業の力—をテーマにオンラインにて開催されました。会期中は県内外から247名の会員・他職種の方が参加し、当日のライブ配信にも多くの方に視聴していただきました。当初の予想を上回る参加者であり、参加されました多くの皆様に感謝申し上げるとともに、皆様の今後の治療の一助になる学会になったと思います。

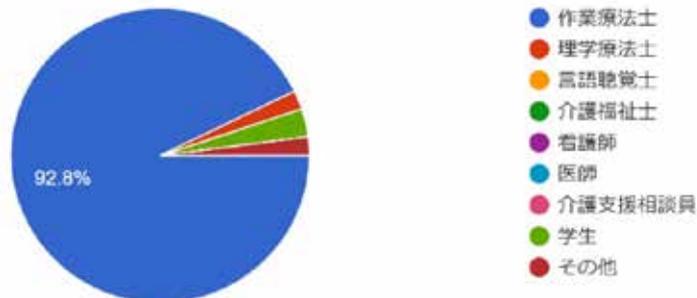
さて、今学会を振り返ると、田中一彦学会長はじめ、各部局長含めた本部チームを作成し2年前からオンライン開催も念頭に置きつつも、対面での開催を目標に準備を進めてまいりました。しかし開催1年前、コロナの感染拡大がさらに加速し感染終息が見込めない状況にあったため、対面での開催は感染リスクを防げないと判断し、オンライン学会開催への大きな方向修正を余儀なくされました。その為、開催1年前から運営会社の選定作業を進めると同時に、対面での2日間開催を完全オンラインのみにするのか、当日のみのライブ配信を実施するのかなど、内容・プログラムの大幅な変更と、ほぼ1からのスタートとなってしまいました。また、組織編成も当初の対面開催のまま実行できると考えておりましたが、各部局長の考えを尊重しすぎたため、当日の運営が各部局に分散してしまい学術局、運営局の皆様には大変苦勞をかけさせてしまいました。更には、HP作成や当日のライブ配信、学会誌の作成など依頼した業者との調整も難航してしまい、情報公開の遅れ、学会誌の掲載の遅れに繋がったのは、実行委員長としての統率力の弱さを露呈してしまい深く反省するばかりであります。反省点はまだ多く挙げられますが、その様な状況下でも、開催までに各部局から色々なアイデアと企画が提案されるなど、次世代の会員の活躍も見られ、学会長のもう一つの想いである次世代育成を組み込んだ学会運営ができたのではないかと考えております。次に東海北陸作業療法学会が三重県で開催されるのは7年後となりますが、7年後の情勢や開催方法に合わせて、今回出た反省点や引き継げる事は有効活用して頂き、更に良い学会運営ができるよう次世代の会員に期待したいと思います。

来年は岐阜県にて第22回東海北陸作業療法学会が対面で開催されます。三重県からも多くの演題登録、学会参加をして盛り上げていきましょう。

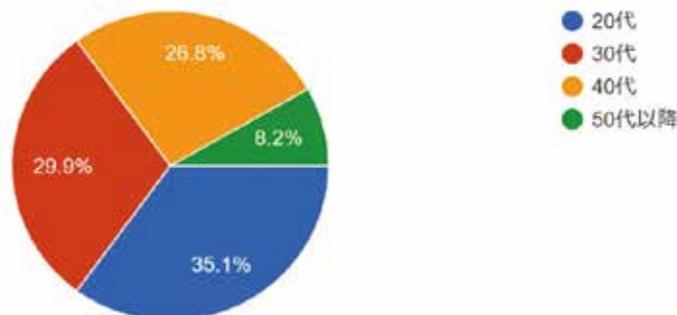
## 第21回東海北陸作業療法学会（第33回三重県作業療法学会）のアンケート結果

今回の東海北陸作業療法学会の振り返りとして参加者へのアンケートを実施しました。参加登録者313名のうち97名より回答を得ました。

あなたの職種を教えてください。選択肢にない場合はその他を選択してください。  
97件の回答



年代を教えてください  
97件の回答



今後の開催方法についてどのようなスタイルが良いと思いますか。  
97件の回答



他職種への参加も促しましたが、参加者の8割が作業療法士であり、20代から30代の参加者が多い結果でした。また、今後の学会スタイルも「現地での開催」よりもオンラインを用いていつでもどこでもアクセスできる学会を求めていることもわかりました。

視聴方法は、ライブ配信よりもオンデマンド配信で視聴する割合が高く、個人のライフステージや都合に合わせた学会参加が広がりつつあります。今後もオンライン開催が検討さ

れると思いました。

多彩なプログラムを開催し、視聴された方は概ね満足されたこともわかりました。

また参加者数は対面で開催された過去の三重県での東海北陸学会より少なく、プログラム内容や開催方法についても今後検討していく課題もあると思われました。

最後になりましたが、運営に携わってくださった皆さん、ご参加いただいた皆さんに感謝いたします。

## 知人 de LINK

医療法人紀南会 熊野病院 金野あやね

こんにちは。医療法人永井病院の田邊恭平さんよりご紹介いただきました、医療法人紀南会熊野病院の金野あやねです。

○紹介者や学生時代のエピソードなどお願いします

田邊さんは専門学校の同級生です。優しく頼りがいがあり、面白くてクラスではムードメーカー的な存在でした。卒業後も同級生らと集まり食事に行くなど交流が続いています。

○業務内容・仕事内容についてお願いします

私は精神科病院である熊野病院に入職して5年目となりました。仕事には慣れ、だいぶ自分らしく仕事ができるようになってきました。熊野病院には現在7名の作業療法士が勤務しており、私は急性期病棟を担当しています。急性期病棟では3ヶ月以内での退院を目指しており、患者様各々の目標に合わせて、集団・個別での作業療法を行なっています。

入院後すぐは、自身の状態の理解が出来ておらず、目標や退院後のイメージを持っていない患者様が少なくありません。その為、病棟 NS や PSW など他職種とミーティングを行い、情報共有を行いながら治療方針を決定し、早期から作業療法が開始できるように取り組んでいます。また、作業療法での活動と今後の生活がどのように繋がっていくのかを、患者様自身に理解し主体的に活動や参加ができるよう、ブリッジングやフィードバックをこまめに行うように心掛けています。

○プライベートな趣味・特技・マイブームなどお願いします



休日に早起きをしてモーニングを食べに行ったり、パン屋さんに行ったりするのがマイブームです。早起きは三文の徳と言うように、ちょっと贅

沢な気分を味わうことができ、幸せな気分です。1日をスタートすることができるので、とても好きな時間の過ごし方です。

○次へリンクする方とのエピソードなどお願いします

今回は専門学校の同級生であり、特別医療法人樟純会武内病院に勤務されている池田優梨奈さんをご紹介させていただきます。よろしくお願ひします。

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 伊藤奈々子

皆さん、こんにちは。第二岩崎病院の村上琴美さんから紹介いただきました、小山田記念温泉病院の伊藤奈々子です。琴美さんとは同じ専門学校の仲間であり、優しく頑張り屋な姿が印象的です。

○出身校について教えてください

私の出身校、ユマニテクの作業療法学科は、先生方も温かくアットホームな雰囲気があります。勉強面でわからない時には熱心にサポートして下さり、時には生徒たちの話に耳を傾けて相談に乗っていただいたり、楽しい話で笑い合ったりと、大変なだけでなく、充実した学校生活を経験させていただきました。

○OT になったきっかけを教えてください

私が OT になったきっかけは、医療分野に興味があったからです。初めは作業療法士といった仕事がある事を知りませんでしたが、弟が作業療法の学校に通う様になり、リハビリの職種を知りました。患者さんの人生において大切な時期に携わり、力になる事ができると言うことに魅力を感じ、OT になることに決めました。身体や心の事は自分自身のためにも必要な知識であり、勉強できた事はとてもありがたく思っています。

入院生活では、前向きになれないことや不安など鬱々とした日を過ごす事が多くなるなかで、少しでも心穏やかに過ごせるよう、関わり合えたらいいなと思っています。

○プライベートな趣味・特技・マイブームなど、お願いします

私は特にこれといった趣味などは今持っていませんが、音楽を聴く事や友達と話すことが気分転換になっています。

1人で過ごす時間も好きですが、人と関わる事で助けてもらっているなど日々感じています。

最近では「亀の甲羅はあばら骨」と言う映画を生き物好きの子供から教えてもらい、人間の骨格が動物だったとのキャラクター設定が面白く、大変興味を持ちました。その中の馬人間のキーホルダーをプレゼントしてもらい、お気に入りとしてスマホにつけています。写真に掲載させていただきます。



○次へリンクする方とのエピソードなどお願いします

今回は以前同じ職場で、私が実習生の時から入社後も大変お世話になった三重県立子ども心身発達医療センターに勤務する北村さおりさんをお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

# 施設 紹介

## 社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院

葛西菜々子



### 施設紹介

当院は、昭和54年に鈴鹿市寺家町に開設され、平成13年に鈴鹿市国府町に新病院として移転した急性期病院です。

現在、地域医療支援病院、災害医療支援病院、がん診療連携病院の指定を受けており、急性期病床323床、地域包括ケア病床56床の計379床で救急医療を中心に幅広く診療を行っています。

リハビリテーション課には、リハビリDr:1名、PT:20名、OT:13名、ST:2名、健康運動指導士:4名、助手:3名、合計42名が勤務しております。

### 仕事紹介

当課では、整形疾患・脳血管疾患・呼吸器疾患・がん・糖尿病など様々な疾患におけるリハビリを実施しています。

今回は、主に整形外科・脳神経外科・脳神経内科の紹介をします。

整形外科では、手の外科専門医が在籍しており、手の外科・肩関節外科をはじめとする整形外科全体の手術数としては年間1500例以上で、この数字は三重県下最多を誇っています。そのため、術前・術後のリハビリ評価や、患者様それぞれに適した装具・自助具の作製、入院中から退院後の生活まで1人ひとりの生活を考えた日常生活指導など、幅広く専門的に携わっています。



脳神経外科では、2014年にSCU(脳卒中集中治療室)が開設され、24時間・365日、救急患者様の対応を行っています。脳梗塞の超急性期治療として、機械的血栓回収術や血栓溶解療法など積極的に実施しています。当課では、SCU専従療法士が在籍しており、発症直後から他職種と連携し安全な早期離床に努めています。また、2017年には脊椎・脊髄センターが開設されました。高精度顕微鏡や脊椎内視鏡を用いた低侵襲外科治療をはじめとする脊椎・脊髄疾患の直達手術は、年間約200件の実績があります。

脳神経内科では、パーキンソン病に対しDBS、疼痛治療としてSCS、痙性治療としてボツリヌス療法・ITB療法などを行っています。三重県内のあらゆる地域の患者様が治療を受けられています。当課では、術前後の評価やリハビリのほか、より精度を高めるため術中評価でも介入しております。また、週に1回、脳神経外科・脳神経内科医師による合同カンファレンスが開かれており、リハビリスタッフも毎週参加しよりよいリハビリの提供を目指して日々勉強に努めています。

### 今後について

当院では、令和3年に三重県で初めてとなるてんかんセンターが開設されました。長時間ビデオ脳波モニタリングが可能な環境が整備され、様々な精密検査で慎重に適応判断をした後、当院での手術も可能となりました。術前には、リハビリスタッフも参加し、優位半球の鑑別としてWada testという評価を実施しています。現在、私はSCU専従療法士として働かせていただいておりますが、まだWada testに携わったことはありませんが、今後はてんかんに対する知識も高め、評価やその後のリハビリにも積極的に参加していきたいと考えております。

【新企画】

# エキスパートに聞いてみよう！

鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科  
 専門作業療法士（摂食嚥下） 青木佑介



## ・専門 OT とは？

専門 OT には手外科、がんなどの全11領域があり、全国で142名が認定されています。その内、私が認定されている摂食嚥下は全国で10名となっています(2022年12月現在)。

専門 OT を取得するには、まず認定 OT に認定される必要があります。その上で各分野の専門領域の研修を受講し、認定試験に合格するとその称号が得られます。私の場合、最短で専門 OT になる方法を模索した結果、認定 OT を取得するための研修を、約1年間で全てを受講し、全国を飛び回りました。当時はコロナに影響されることもない時期で、各地を観光しつつ、研修で多くの OT の方と交流ができて良かったです。

## ・どうして摂食嚥下なのか？

実際は OT 養成校で摂食嚥下に関して学んだことがほぼない状態でした。しかし、臨床で摂食嚥下に関わる事が多く、対象者に正当な支援が提供できるようにしたいとの思いがあり、独学で勉強し始め、摂食嚥下を探求するようになりました。摂食嚥下というよりは、「食事動作」や「食支援」という用語が適当かもしれません。どの分野に興味を持ち、追求するかは個人により異なりますが、『この分野なら他の人に負けない』という思いは大切にしたいと考えています。

## ・摂食嚥下にどのように関わっていくと良いか？

まずは、対象者の口腔内を見ることです。開口の指示に従えるかで、意識、理解や認知面の状態などが予測できます。また口腔の乾燥、衛生、唾液の性状、痰の有無、舌運動などにより嚥下機能、脱水や栄養状態も予測できます。口腔内を評価することにより次に繋がっていくと思います。

## ・摂食嚥下をどう学ぶと良いか？

近年摂食嚥下に関するテキストが多々ありますが、OT の専門家が記載した臨床作業療法 NOVA があります。その2021年夏号と2022夏号に摂食嚥下の特集があり、初学者としては理解しやすくまとまっていると思います。また日本摂食嚥下リハビリテーション学会が評価や訓練法をまとめた資料があり、無料でダウンロードでき、参考になると思います。詳しくは添付の QR コード（学会ホームページ）からご参照ください。



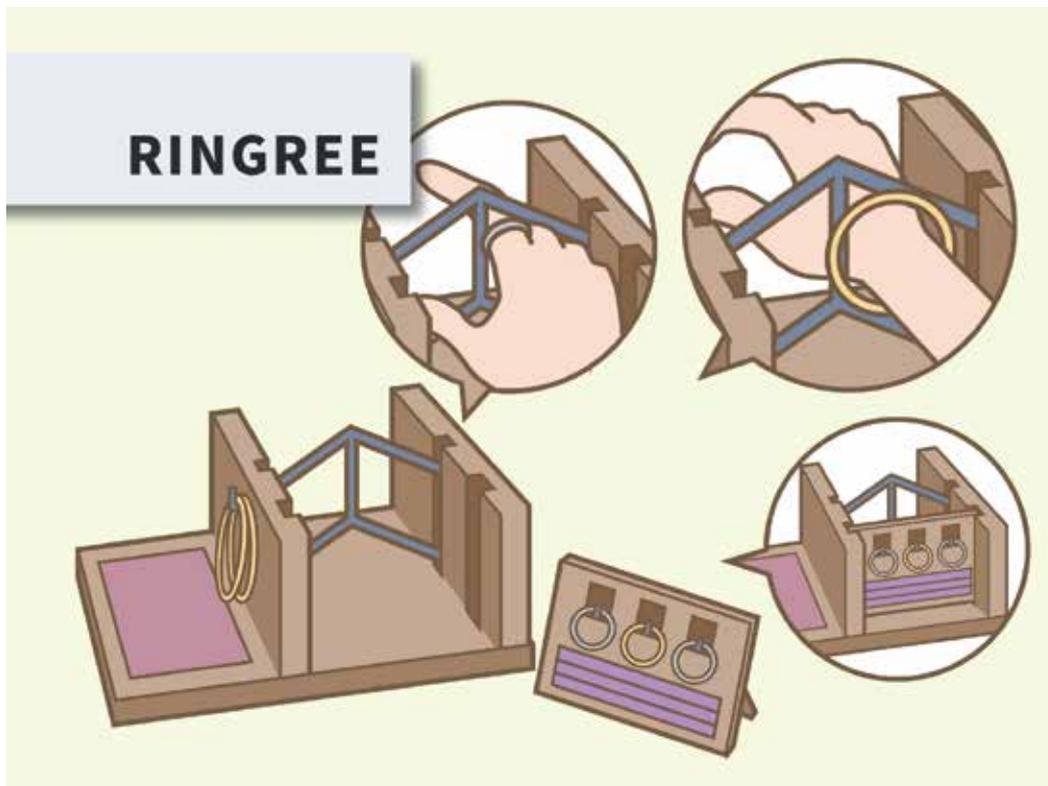
# [ イベント・研修会参加報告 1 ]

## 第17回みえ福祉用具アイデアコンクール 2022

一般社団法人三重県作業療法士会副会長 佐藤明俊

令和4年10月4日(火)15時より、三重県身体障害者総合福祉センター大研修室にて開催されました、第17回みえ福祉用具アイデアコンクール2022の審査会に出席させて頂きました。今年は、県内外から243作品の応募があり、5名の審査員による予備審査から19作品に絞り込まれ、更に当日類似品を除外した中から、最優秀賞、優秀賞など決めていきます。その中で三重県作業療法士会賞に輝いた作品は、「RINGREE」という、片麻痺の方が片手で指輪や装飾リングを付け外しできるという福祉用具に決定しました。コロナ

禍で外出機会もまだまだ限られておりますが、オシャレをすることは、女性にとって大事なことであり、QOLを高めるものになると考え選考しました。3年振りの対面表彰が予定されておりましたが、感染拡大を受け今年も郵送という形で受賞されました神戸医療福祉専門学校 三田校・林 実優様へ、三重県作業療法士会賞を贈呈させて頂きました。今回受賞された作品に関しては、みえテクノエイドセンターHPにて閲覧可能になっております。是非会員の皆様も、来年アイデアコンクールに応募してみてもは如何でしょうか。



受賞作品\*みえテクノエイドセンター提供



みえテクノエイドセンター HP

## 脳卒中患者の脳画像と高次脳機能障害の参加報告

三重北医療センター菰野厚生病院 出口美緒

令和4年11月14日にオンライン開催された「脳卒中患者の脳画像と高次脳機能障害」に参加させていただきました。

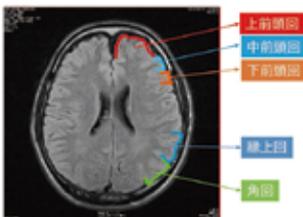
参加のきっかけは、脳画像は独学ではわからない部分も多く臨床に生かすことができていると感じていたことでした。また高次脳機能障害を呈している患者様を担当した際、もっといい介入方法があったのではないかと不安になることもあり。今回の研修会では脳画像と照らし合わせて責任病巣や高次脳機能障害、介入方法を学ぶことができました。学生時代に学んだ時と違い、臨床で経験したことを思い出しながら講義の内容を考えることができたためとても興味深かったです。特に印象に残ったことは記憶障害についてです。責任病巣によって現れる症状が違うということは今回の研修で初めて知ることができました。高齢の方と接する事が多いため元からある認知機能低下と脳血管疾患から生じる記憶障害の判別をつけることは患者様により良い介入を行う為に

も大切だと感じました。

また、今までは脳画像からの評価が十分に出来ていなかったため今回の研修で学んだことを生かして積極的に脳画像から症状の予測をして介入に生かしていきたいと思いました。

**観念運動失行**

- ・言語命令を媒介として喚起可能な種類の、社会的習慣性の高い客体非使用性運動行為の意図性表現困難な状態
- ・主なあやまりは、行為そのものの誤り（錯動作）、保続、指の一部を道具に見立てた動き（body part as object現象）などがある
- ・口頭命令よりも模倣、模倣よりも物品を使う身振りよりも道具を使う方が容易



責任病巣：  
緑上回、角回前部、上頭頂小葉、下前頭回後部

## てんかんの基礎知識とリハビリテーションの実際の参加報告

国立病院機構 榊原病院 昼田憲子

令和4年12月13日に、学術部主催の研修会「てんかんの基礎知識とリハビリテーションの実際」がZoomにて行われました。今回私は企画運営としてこの研修会に関わらせていただきました。

普段は、精神科単科病院で働いていますが、てんかんを主病名で持つ患者様は非常に少なく、てんかん発作の既往がある方でも服薬でコントロールされているため、“てんかん”に直接対応、アプローチすることはほとんどありませんでした。

そんな中、最近、作業療法中も発作と見られる症状がある患者さんに会い、改めててんかんとはどのような疾患なのか、リハビリテーションでは何をすべきなのかなど、基本的な知識を得たいと思い、てんかん専門の病院（静岡てんかん・神経医療センター）の作業療法士 井上和哉先生に講師をお願いしました。

講義では、てんかんの基礎知識と実際に病院で行われているリハビリテーションについてお話がありました。てんかんの分類が2017年から変更されたこと、てんかん発作があることで子供の頃からの長期的な行動制限が強いられて体力低下が問題になること、身体面・高次脳機能障害に対する個別での関わりから集団での心理社会的アプローチまで多岐

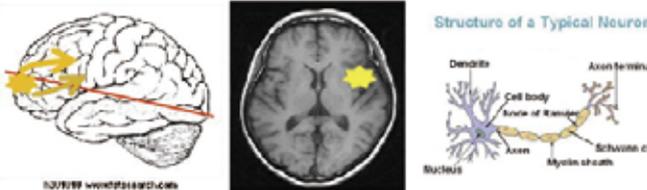
にわたるリハビリテーションが行われていることなど新たに知る内容も多く、良い学びの場となりました。

質疑応答では、てんかん発作中・後の基本的な対応や発作の誘因を避ける環境設定について質問があり、参加者の方々が、実際の患者さんを思い浮かべながら受講されていることがよくわかりました。

てんかんは100人に0.8人が持つ疾患だそうです。珍しいことと考えれば、様々な人の病気や障害、生きづらさや希望を理解し、共に考え共に歩もうとする作業療法士にとってこの知識は活かされるはずと確信しました。この機会に感謝します。

**てんかん発作とは？**

脳の神経細胞の過剰かつ異常な同期性活動による症状



## [各部署、委員会、ブロックの活動報告 2]

## 地域リハビリテーション部より

## 地域支援事業に関する人材育成研修会の参加報告

地域リハビリテーション部 竹内元輝

令和4年10月30日に日本作業療法士協会主催の研修会に参加させていただきました。内容は第4次作業療法5か年戦略やケア会議と短期集中予防サービスの連動、7都道府県から地域への作業療法士参画拡大に向けた事例紹介等がありました。今回の研修会では、事前に協会から作業療法士の地域参画状況に関するアンケート調査の依頼があったため、地域リハビリテーション部でアンケート調査を実施し情報を集約した上で研修会に臨みました。

第4次作業療法5か年戦略では地域共生社会5か年戦略が示され、スローガンと最上位目的について学びました。地域共生社会の構築に向けて、さまざまな領域(医療・介護・福祉・保健・労働・司法等)で活躍する作業療法士の方々との協働が必要不可欠であることを学びました。今回の研修で学んだ内容を参考にし、地域リハビリテーション部の活動につなげていこうと考えています。

第四次作業療法5か年戦略(2023—2027)①

## 地域共生社会5か年戦略

## I. スローガン

人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法

## II. 最上位目的

作業療法士が地域のさまざまな場(医療・介護・福祉・保健・教育・労働・司法等の領域)において、地域に根ざしながら、専門職間のつながりはもとより、そこで共に暮らしている健康な人・障害のある人を含む老若男女 すべての人を対象に(または協働して)、作業(生活行為)に焦点を当てた支援や調整によって、人と人のつながり、人と社会のつながりを創り出し、人々の健康と幸福を促進する

## III. 上位目的

上位目的 1. それぞれの地域ですべての人々の活動・参加を支援する作業療法

上位目的 2. 人々の活動・参加を支援できる作業療法士の育成の強化と教育システムの整備

作業療法士の地域参画状況に関するアンケート結果が右の図になります。今回の結果を踏まえ、三重県各市町で作業療法士が地域支援事業に参画できる、参画を拡大する、新たな地域支援事業へ参画できる市町が増えていくよう活動に取り組んでいきます。また、私たちだけでは各市町の地域支援事業の実態を十分に把握できない部分もあります。なにか情報等ございましたら mie.chiiki.ot@gmail.com までご連絡いただけますと幸いです。

市町村	関係度合い	市町村	関係度合い	市町村	関係度合い
桑名市	A	津市	E	松阪市	B
木曽崎	D	名張市	E	伊勢市	B
四日市市	E	伊賀市	E	志摩市	A
いなべ市	B			鳥羽市	B
東員町	D			多気町	B
菟野町	B			大台町	B
鈴鹿市	B			明和町	D
龜山市	E			度会町	B
朝日町	C			大紀町	D
				南伊勢町	D
				紀北町	E
				玉城町	D
				尾鷲市	D
				熊野町	C
				紀宝町	C
				御浜町	C

～関係度合い～  
 A:積極的に地域支援事業に取り組んでいる  
 B:何らかの形で地域支援事業に取り組んでいる  
 C:担当者との面識はある  
 D:関わりがない  
 E:分からない

## [各部署、委員会、ブロックの活動報告3]

## 地域リハビリテーション部より

## 1. 認知症アップデート研修会の報告

南勢病院 浅沼 慎也

令和4年11月4日(金)、認知症アップデート研修を開催しました。今年度は「明日から使える知識」をテーマに、認知症初期集中支援チーム、認知症治療病棟の内容で、総勢20名が参加しました。

認知症初期集中支援チームの講義では、南勢病院の精神保健福祉士 山下侑助さんから活動内容と介入事例を紹介していただきました。認知症の方と関わる際のポイントや介入方法は臨床で生かせる知識で、また松阪市認知症初期集中支援チームの特徴として専門医療機関と連携を取りやすいなど、市町の現状も知ることができました。

認知症治療病棟の講義では、熊野病院のOT久保雅邦さんから活動内容と介入事例を紹介していただきました。認知症の方が過ごしやすい環境づくりに力を入れており、廊下の手すりは病床までつながっていることや、トイレのマークもドア一面にピクトグラムで表示するなど、病棟における環境の

工夫について知れる貴重な講義でした。さらに、病棟を「小さな地域」、病棟に入院している患者を「地域に暮らす住民」と捉える視点を教えていただきました。

最後にグループワークを実施し、今回の研修の理解を深めました。

感想や質問のほかに自分たちが困っていること、相談したい内容も話すことができました。研修後のアンケートでも気軽に話げできました、参加できて楽しかったですという意見がありました。来年も開催できれば、ぜひ参加してみてください。



## 2. 認知症スキルアップ研修会の報告

三重つくし診療所 村田 伶

令和4年11月27日(日)、認知症スキルアップ研修(三重地域医療介護総合確保基金を受けて実施)を開催しました。昨年度より本研修会は、県士会発行の「地域で活躍できる作業療法士育成研修 修了証」の1つの要件となっており、他県・他職種合わせて総勢33名の方の参加がありました。

講師には、秋田大学医学部保健学科作業療法学専攻の久米裕先生をお迎えし、「地域における認知症予防の取組〜リハビリ専門職の役割〜」というテーマでお話していただきました。

「認知症予防で地域ごとに抱える課題への取組」、「活動・休息リズムと認知症予防に関する研究の報告」、「認知症予防の地域活動で専門性を活かした視点を取り入れた取組」と盛り沢山の講義で、参加された皆様も熱心に聞き入

っていました。領域、専門職、住民が繋がることを目指し、活動に尽力されている先生の取り組みに心動かされました。

その後の質疑応答、グループワークでも活発な意見交換がされていました。他県、多職種、地域包括支援センターの方々も参加され、「今日からの仕事を違う視点で捉えたい」「OTとの関わりを密にしたい」というご意見もいただき嬉しく思いました。

ご参加いただいた皆様、貴重な講義をして下さった久米先生に厚く御礼を申し上げますとともに、運営に携わって様々な支援をしてくださった仲間のお陰で今回の研修会を成し遂げることができたと思います。本当にありがとうございました。



## [各部局、委員会、ブロックの活動報告4]

## 組織部より

## 東海北陸リーダー養成研修会に参加して

医療法人豊和会 訪問看護ステーション豊和 濱口 真

令和4年10月22日(土)にWEB開催されました「東海北陸リーダー養成研修会」に参加させていただきました。参加者は東海北陸の各士会から30名程でした。

本研修の目的は、「協会、士会の役割や重要性の理解と、リーダーとしての思考力を高める」であり、内容は、日本作業療法士協会会長の中村春基先生と、福井大学医学部名誉教授の寺澤秀一先生による講演およびグループワークという構成でした。

中村会長からは、作業療法士が心身の両面に対して評価し、アプローチできるという姿をもっと世に広めていく必要があるとお話がありました。また、部下や後輩に対し、常に学びチャレンジしていく姿を自ら見せていくことが大切であることを学ばせていただきました。

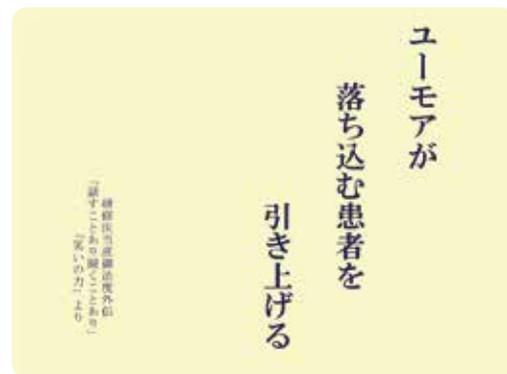
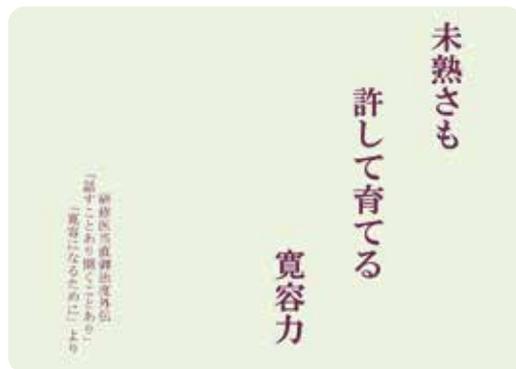
寺澤先生からは、医療従事者はユーモアを兼ね備えていることが大切であるとお話がありました。また、部下や後輩自ら

問題解決できる能力を獲得できるよう寛容さをもって接することが大切であると学ばせていただきました。さらに、士会の加入率向上のアイデアとして、「士会に入会するメリットを発信する」や、「士会に入会するメリットを増やす」というご提案いただきました。

グループワークでは、東海北陸の各士会の方と、「作業療法士、リーダーとして組織内での悩み、困り事に対し、どう取り組むか」について意見交換し、非常に意義深い時間を過ごすことができました。

今後、職場での指導やマネジメント、士会での活動において、今回の研修で学んだことを活かしていきたいと思えます。

最後に、今回このような機会を与えていただき誠にありがとうございました。



## [各部局、委員会、ブロックの活動報告5]

## 運転と作業委員会より

## 運転支援についてのアンケート

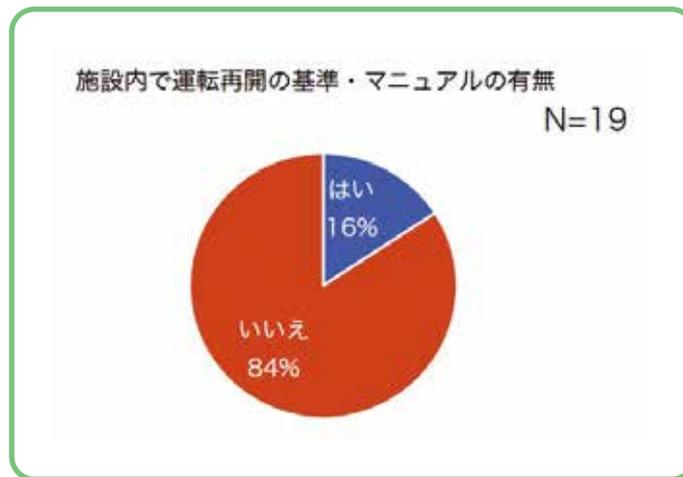
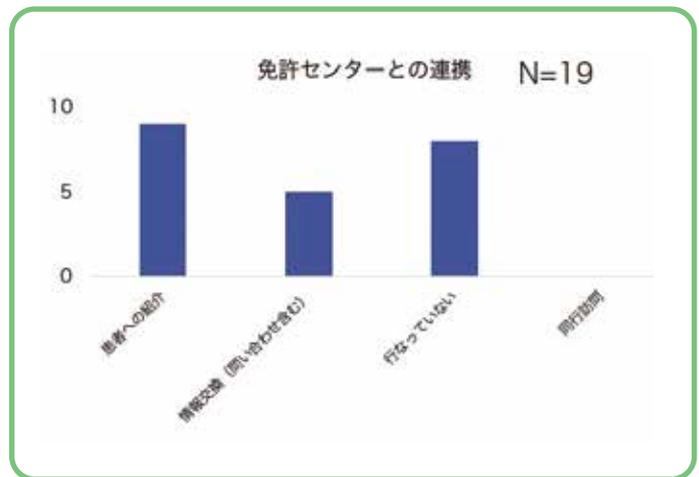
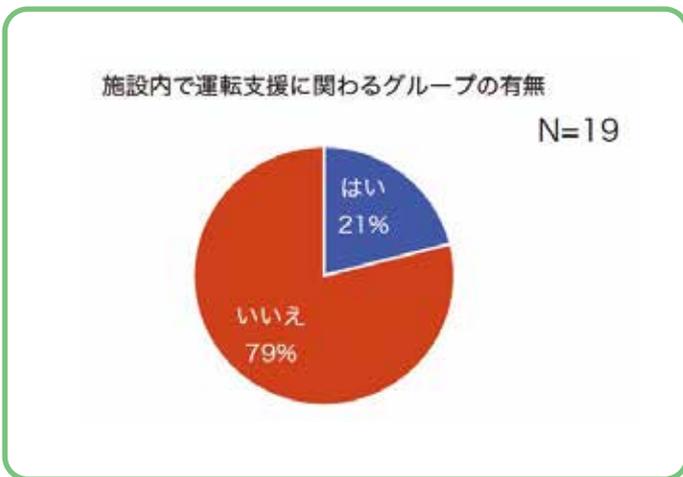
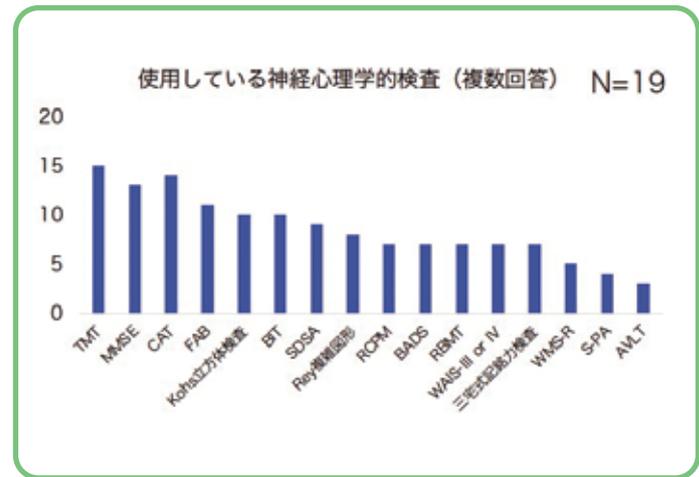
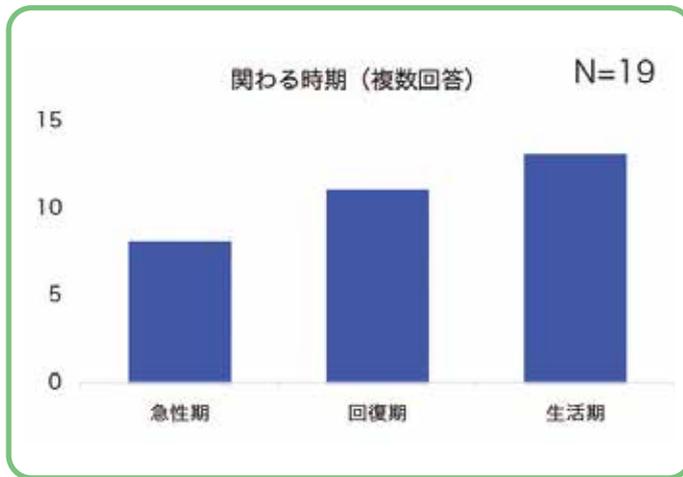
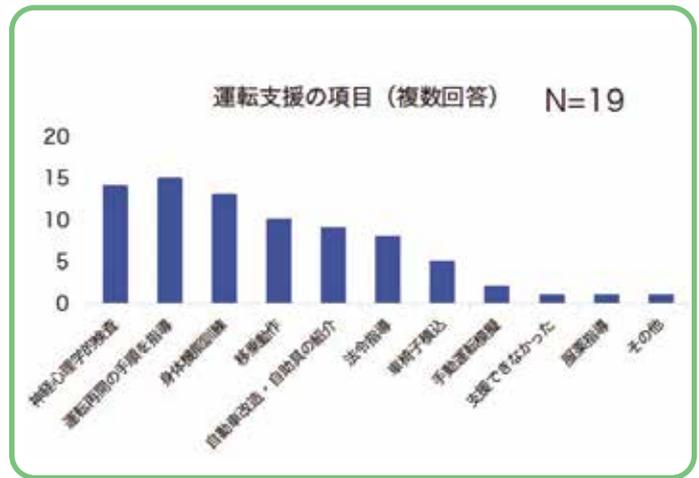
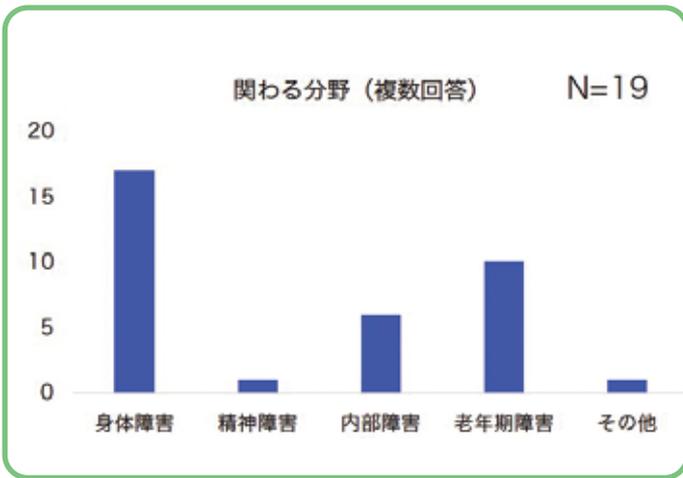
運転と作業療法委員会 宮坂裕之

令和4年度より運転と作業療法委員会が設置され、県内の自動車運転支援の現状を把握するために各ブロック連絡網を利用し、アンケート調査を実施しました。ブロック連絡網で登録されている施設は132施設で、そのうち50施設から回答がありました。今回は、運転支援に関わっていない方からも協力いただき、50施設中19施設(北勢/中勢/南勢:8/6/5)で、「患者さんから自動車運転再開の相談あり」と回答があり、何らかの対応をしていることがわかりました。ドライ

ブシミュレータによる支援は3施設で、施設内で教習コースを保有している施設は1施設、施設外の教習コースを使用している施設は3施設でした。また、現時点では、運転支援に関わっていても、今後関わってみたいと回答した施設が11施設あり、運転支援に関わるOTが増えるように委員会としても啓発活動をしていきたいと思えます。

今回、アンケートにご協力いただいた皆様に感謝致します。アンケート結果は今後の勉強会の参考にさせていただきます。





自由記載欄へのコメント（抜粋）

- ・運転可否の過程やエビデンスを知りたい
- ・リーフレット、マニュアルの作成
- ・運転支援施設の公開
- ・免許センターとの連携強化
- ・学生教育に活用したい

## [各部署、委員会、ブロックの活動報告6]

## 選挙管理委員会より

## 選挙管理委員会からのお知らせ

会員各位

令和5年2月1日

一般社団法人三重県作業療法士会  
選挙管理委員長 伊藤 篤史

## 公 示

定款第30条に基づく令和5年6月11日の役員任期満了に伴い、選挙の管理・運営の手引きに則り、役員選挙を下記の通り公示いたします。

## 記

## 1. 職名と定数

- ① 理事 3名以上20名以内(代表理事候補を含む)
- ② 監事 1名以上2名以内
- ③ 代表理事候補兼理事 1名

## 2. 理事、監事及び代表理事候補兼理事の選出について

- ① 理事と監事については正会員による選挙によって直接、選任されます。
- ② 代表理事については、定款第27条により、理事会の決議により理事の中から選任されます。今回の選挙では、正会員が役員候補者に対する意見を表明する機会として代表理事候補者という形で選出します。

## 3. 立候補の届出について

- ① 立候補は三重県作業療法士会の正会員であれば誰でも可能です。
- ② 役員に立候補または推薦される方は三重県作業療法士会のホームページより必要書類をダウンロードして「選挙の管理・運営に関する手引き」を参照し署名後、選挙管理委員長へ郵送もしくは必要書類に署名した書類をデータ化(写真・PDF等)して下記メールアドレスへ送信してください。
- ③ 立候補者及び推薦者代表が選挙公報に意見等の掲載を希望する際はその掲載文を400字以内にまとめ、テキスト形式(word形式)で下記メールアドレスへ送信してください。郵送の場合はCD-Rに保存したものを立候補届けに添付してください。

E-mail: [mieotsenkan@yahoo.co.jp](mailto:mieotsenkan@yahoo.co.jp) 件名:「立候補の件」「選挙公報掲載文の件」と明記してください。

- ④ 告示及び選挙公報掲載文は三重県作業療法士会ホームページに掲載されます。

以上

- ・立候補及び推薦候補受け付け締め切り: 令和5年5月18日(木) 当日消印有効
- ・開票日時: 令和5年6月11日(日)
- ・選挙方法: 本年の総会はwebを使用し開催されるため郵便投票を想定しています。
- ・開票場所: 事務局  
届け出先: 〒515-8566

三重県松阪市川井町字小望102 松阪中央総合病院 リハビリテーションセンター内  
一般社団法人 三重県作業療法士会 選挙管理委員長 伊藤篤史 宛  
TEL: 0598-21-5252(代) E-mail: [mieotsenkan@yahoo.co.jp](mailto:mieotsenkan@yahoo.co.jp)

## [各部局、委員会、ブロックの活動報告]

## 中勢ブロックより

## 中勢ブロック オンライン施設見学会

独立行政法人国立病院機構 三重病院 松原 健

中勢ブロックでは、令和4年10月28日にオンライン施設見学会を行いました。コロナ禍以前は対面で行っていた施設見学会をオンラインで実施しました。3つの病院・施設がパワーポイント等を使って施設紹介を行いました。

終始、和やかな雰囲気で行われ、リハビリ部門の紹介や普段行っている作業療法の紹介、コロナ禍での現状や困りごとなど様々な意見交換を行うことができました。

参加者からは「他の病院や施設の現状を知れて、とても有意義な時間を過ごすことが出来た」との感想を頂きました。

対面での研修はまだまだ難しい状況ではありますが、オンラインを活用し県士会員同士の横の繋がりを深めていきたいですね。

## 事務局からのお知らせ

## 令和5年度定時社員総会のお知らせ

日時：令和5年6月11日（日） 10:00～12:00

開催方法：WEB（zoom ミーティング）開催

総会は、各部局・委員会の1年間の事業報告と次年度の事業計画を報告する場です。また、県士会に対しての意見を参加者で話し合う場を設けていますので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

## [勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/study/>

## [求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/job/>

## [編集後記]

新年になり、寒い日が続いております。昨年末には、サッカーのW杯が開催され、日本代表を皆が応援しました。日本中の期待を背負って戦う選手達達をみて、勇気づけられた方も多かったのではないのでしょうか。これをきっかけにサッカーに興味を持つ子供が増えたそうです。作業療法士も多くの場で活躍し、憧れられる職業にならなくてはいけないと改めて実感しました。

昨年11月に第21回東海北陸作業療法学会が開催されましたが、COVID-19の影響もあり、オンラインでの開催となりました。多くの会員の皆様に参加していただき感謝しております。実行委員の皆様も、多くの制限がある中、ご尽力いただきありがとうございました。今回の学会で得た経験を次回7年後の東海北陸作業療法学会に活かせれば良いと思います。その際は、対面方式の学会が再開されていることを期待しております。この度は、どうもありがとうございました。

（編集：宮坂裕之、部局員：伊藤篤史、渡邊 誠、岡田拓朗、萩野 創）

## 発行所

〒514-1296

三重県津市大鳥町424-1

藤田医科大学七栗記念病院内

一般社団法人三重県作業療法士会 広報部

発行責任者：田中一彦

## 事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人三重県作業療法士会 事務局

TEL：059-328-1260

FAX：059-337-9511

e-mail：mieotjim@yahoo.co.jp

## [ 賛助会員のご紹介 ]

### NihonMokki のパズルレンタルのご案内

指先運動とパズルで脳トレ!科学誌ニュートンにコラムを掲載していた Asobidia の本格パズルが定期的に届きます。  
レンタルなので、パズルに飽きたころに新しいパズルが届きます!

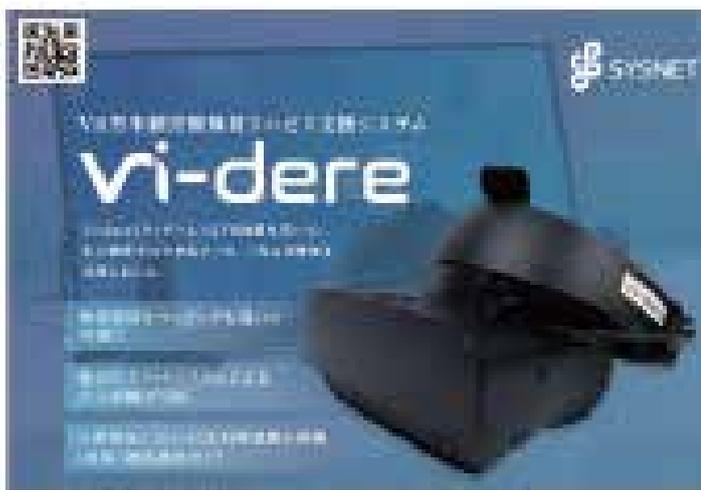
お問い合わせは こちらの QR コードから



#### 日本モッキ

[https://www.nihonmokki.jp/puzzle\\_rental/](https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/)  
0596-65-6039  
e-mail wood@nihonmokki.jp

# Puzzle Rental



撮影協力: 亀田リハビリテーション病院様

視覚認知領域を定量的にマッピング化かつ  
ADL 場面を含めた評価・訓練が可能になりました



株式会社システムネットワーク

### 衣食住は、生活の基本です。

あらゆる人々が快適に着心地の良い衣服を選んで欲しいと願っています。それは高齢者、障がい者の方も同じです。当社は高齢者の暮らしに寄り添い、溶け込むことを最優先に、より良い生活を送るための洋服を提案しています。衣服のことでお困りごとがあれば、お気軽にお声掛けください。



半開なので  
かぶりやすい



持ちやすい形状



円背・前傾の  
方に対応



当社は洋服の機能をわかりやすくするために単純なデザイン説明 (ピクトグラム) を使用しています。

**田中センイ株式会社** 担当者: 田中友明  
〒518-0444 三重県名張市箕曲中村 207  
TEL: 0595-63-7851  
HP: <http://www.tanakaseni.co.jp>